

「ERCP 既往の有無が急性胆管炎の胆汁培養結果と治療経過に与える影響を検討するための後ろ向き研究」について

1. 研究の対象

2022年4月～2024年3月までに急性胆管炎に対してERCPにて胆汁を採取し培養を行った患者さん

2. 研究目的・方法

急性胆管炎は胆管内の感染が引き起こす急性の炎症であり、胆管ドレナージおよび抗菌薬治療が適切に行われない場合、高い致死率を伴う可能性がある疾患です。内視鏡的逆行性胆管膵管造影（ERCP）は診断・治療のための一般的な手技ですが、ERCPで施行される胆管ステント留置や乳頭括約筋切開術の後では、腸球菌が検出されることが増加することが報告されています。しかし、過去にERCPを行ったかどうかによる胆汁中細菌の違いや、それに伴う抗菌薬の反応性、治療経過に関しては十分解明されていません。今回の研究の目的は、ERCP歴の有無による胆汁中細菌の組成や、患者さんの治療経過を明らかにすることです。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

- ・患者背景：性別、年齢、病名、合併症、胆管炎重症度、胆道ドレナージ歴、胆管ステントの有無、乳頭処置の有無
- ・細菌検査所見：細菌名、感受性結果
- ・臨床情報：使用抗菌薬、解熱までの期間、抗菌薬投与期間、白血球値の推移、CRP値の推移、退院までの期間、30日以内の胆道感染の再燃

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

磐田市立総合病院 消化器内科 住所：静岡県磐田市大久保 512-3 電話：0538-38-5000
研究責任者：磐田市立総合病院 消化器内科 金子淳一